

事務事業名	高齢者インフルエンザ予防事業	整理番号	21208-010
所 管	健康推進課 健康推進スタッフ		

事務事業の位置付け

期間	昭和 40年度 ~ 平成 年度	根拠法令・要綱等	予防接種法
基本計画における位置付け	基本政策	2-1 心身の健康づくり	関連政策
	政策	2-1-2 保健衛生の充実	

事務事業の内容

目的 (何のために)	インフルエンザの予防
対象 (誰・何を)	65歳以上の高齢者及び心臓・肝臓・呼吸器などが障害1級である60歳以上65歳未満の者
手段 (どのようなやり方で)	個別接種(指定医療機関)で実施している。
成果 (どのような状態にしたいか)	インフルエンザの発症が抑制される。発病して重症化の予防にもなっている
事務事業の背景・住民の意向	市民の関心は高く、接種率は高い。
見直し改善の経過	平成13年度から対象者全員に個人通知を出している。

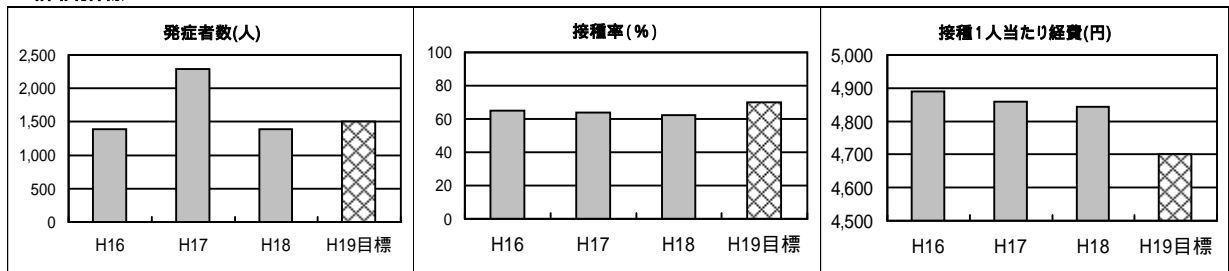
事務事業の実績・投入コスト

年度	事務事業実績	
平成16年度	対象者数 14,203人	接種者数 8,738人
平成17年度	対象者数 14,614人	接種者数 9,326人
平成18年度	対象者数 15,158人	接種者数 9,465人

投入コスト(千円)

年度	直接経費(上段)	人件費(下段)
16年度	約35,000	約5,000
17年度	約35,000	約5,000
18年度	約35,000	約5,000

評価指標



事務事業の評価

観点別・一次評価(担当部署の評価)		コメント	今後の方向性
観点別評価	必要性	予防接種が発病防止や重症化抑制に、高い効果が認められるといわれておりますので、接種率の向上を図りたい。	継続
	有効性		
	効率性		
一次評価	A		継続
二次評価(行政評価委員会の評価)		コメント	今後の方向性
二次評価	B	接種率の向上に努められたい。	継続

改革プラン

平成19年度からの対応	接種率の維持及び向上に努める。従来どおり接種対象者全員に通知する。
平成20年度以降の対応	接種率の維持及び向上に努める。従来どおり接種対象者全員に通知する。
改革により予想される成果	インフルエンザの発症の防止や重症化の抑制が見込まれる。